つなぐ

塾員から塾生へ、そして社中※協力

※社中は、塾生・塾員・教職員など、すべての義塾関係者の総称です。

維持会紹介動画ができました！

↓ 動画はこちらからご覧いただけます。

慶應義塾維持会 会報

TOPIC1:維持会懇話会レポート P01

TOPIC2:決算報告（2023年度） P04

TOPIC3:事業報告 P05

維持会奨学生VOICE P07

維持会奨学生からの感謝のメッセージ P09

2024年号

TOPIC 1 維持会懇話会レポート

維持会懇話会について

慶應義塾維持会懇話会は、2008年より維持会常任委員と維持会奨学生の交流の場として始まりました。奨学生にとっては、維持会からの支援を実感でき感謝を直接伝えられる貴重な場となっております。

2024年度は、7月11日（木）に三田キャンパスにて開催いたしました。参加者は70名を超え、賑やかな懇談の場になりました。

参加者が皆、笑顔で和やかに夢や志を話し、常任委員にとっても、奨学生にとっても実りある時間になりました。

奨学生へのメッセージ

維持会会長

奨学生の皆さまと話ができること、うれしく思います。各テーブルには、地域の三田会の代表をしている会長がおり、興味深い話をしてくださると思います。ぜひ聞きたいこと、聞いてほしいことなどがあれば、遠慮なく積極的に懇談してください。維持会は、1901年に慶應義塾の発展を支えていく会として発足していて、長い歴史を持っています。奨学生を支援するのは、2007年からですが、これからももっと発展していく会にしたいと思っています。

岩沙弘道 会長

塾長より

1858年に福澤先生が自分の塾を作り、後からできた東京大学をはじめとする、あらゆる帝国大学に教員を送り込みながら、相当な努力をして発展してきました。1901年に福澤先生が逝去され、慶應義塾をたたむか否かを迫られたときに、たたむ道はないということで維持会を発足し、卒業生が多額な寄付をして慶應義塾が維持されました。2007年からは、奨学金を支給できるまでに維持会が発展しました。皆さん、卒業したら、維持会に入り、後輩を支えてください。そのためにも、まずは、学業を頑張ってください。そして、キャンパスライフを楽しんでください。

伊藤公平 塾長

維持会奨学生代表による御礼の挨拶 1

この度、慶應義塾維持会の皆様のご支援を受け、安心して大学での学びに取り組めることを、本当に嬉しく感じるとともに、頂いた機会や環境に感謝申し上げます。

また、本日の懇話会では他の奨学生や維持会関係者の皆様との対話を通して、同じ慶應義塾大学内に、こんなにも多くの学生が多方面で活動・活躍している姿に刺激を受けました。

今後も自分らしく、そして慶應生の一人として何ができるのかを問いながら、活動して参りたいと思うきっかけになった、非常に有意義で貴重な懇話会でした。

このような場を設けてくださりありがとうございました。

私は今大学4年生で、大学生活も残りわずかとなりました。今年度は大学内での学びにとどまらず、学外の活動にも取り組みながら学びをさらに発展させたいと考えております。

改めて、学びの機会を頂けたご支援に心から感謝を申し上げます。

法学部政治学科4年 神奈川県出身

この度は慶應義塾維持会奨学金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。地方から上京してきた私にとって、家族以外にも支えて下さる方々がいることは本当に心強いです。心から感謝申し上げます。

両親は私の意志を尊重し慶應義塾大学への進学を認めてくれましたが、山形県からの進学であったため、学費の他にも家賃、生活費など様々な面で両親に経済的負担をかけてしまうことに不安を感じていました。

この度、奨学生として採用していただけたことで、両親への経済的負担を減らせること、落ち着いて学業に励むことができることを非常に嬉しく思っております。

本当にありがとうございます。

本日の懇話会では、学校生活を中心にお話ししました。先輩からは、慶應在学中、卒業後の経験を教えていただき、自分にとって今後参考になるお話で有意義な時間を過ごすことができました。

慶應義塾大学の志の高い仲間たちに日々刺激を貰いながら学ぶことができる環境は、私にとって最高の環境です。卒業後も様々な方面で活躍し刺激を与えてくださる先輩方のように、私も大学での学びを通して少しでもより良い世の中にできる人財（材）になるために日々学び続けます。

改めて、慶應義塾維持会の皆様に心から感謝を申し上げます。

商学部2年 山形県出身

維持会奨学生代表による御礼の挨拶 2

　このたびは維持会の皆様との貴重な交流の場を設けてくださり、誠にありがとうございました。皆様のご支援のおかげで、入学して数ヶ月ではありますが、とても楽しい大学生活を送ることができております。

　今日は同じ九州出身の塾生の先輩方と九州にお住まいの維持会の方々とたくさんお話ができて楽しかったです。

　大学生活に不安もありましたが、維持会の方々の大学時代のお話や、先輩方も楽しく過ごしていらっしゃるお話など、自分の知らない話もたくさん聞くことができて、これからの大学生活に希望を持ち、自分もこの慶應で頑張っていこうと思いました。

　このような交流ができる機会は滅多にありませんので、とても大切な経験をさせていただきました。

　今後も皆様のご支援・ご期待に応えられるように、一生懸命勉学に励み、良い成績を収められるよう頑張ります。これからも温かい目で見守っていただけると嬉しいです。

理工学部1年 福岡県出身

　日々のご支援に加え、本日はこのような懇親の場を設けていただき、誠にありがとうございます。昨年度の懇親会に引き続き、今年度も大変充実した時間を過ごすことができました。

　他学部で学ぶ同じ九州出身の奨学生や三田会の先輩方からお話を伺ったことで、今後の学生生活や研究に対して良い刺激を受けることができたと思います。

　私は現在、SFCにて二つの研究会に所属し、地域活性化に関する研究を行っています。地元鹿児島県の自治体と共同してデータに基づく観光振興事業と、SFC周辺地域で地域産業である稲作に取り組んでおり、「地域活性化」という一つのテーマを域学連携や伝統産業の振興、データ活用の面から多面的に研究しています。

　維持会の皆様からご支援いただくのは今年で3度目になりますが、限りある4年間の大学生活で、経済面への不安を抱えず、ひたすらに自身の興味分野を研究できたのは、ひとえに維持会の皆様のおかげです。ありがとうございます。学生生活も残り一学期となりましたが、ご支援いただいている維持会の皆様からのご期待に応え、自分が携わっている研究やプロジェクトをより良い形で終えられるよう、今後も邁進いたします。

　卒業後も在学中のご恩を忘れず、いずれは維持会の皆様のように、慶應義塾を支える存在になれるよう精進してまいります。

総合政策学部4年 鹿児島県出身

TOPIC 2 決算報告（2023年度）

現在、維持会会員数は45,000名を超え、会員の皆様からのご厚志による維持会基金は、2023年度末には44億円を超えました。
本年度も維持会の趣旨にご賛同いただき、ご支援をお願い申し上げます。

収入の部

寄付金	381,425,417円
維持会基金運用収入	85,639,356円
（1）収入の部合計	**467,064,773円**

新規入会 560件
継続 5,494件
計 6,054件
のご支援を賜りました！

支出の部

維持会事業費	ポストコロナ教育・研究支援事業	169,364,233円
	維持会奨学金（132名採用）	82,500,000円
	キャンパス施設整備資金	3,139,356円
管理経費	諸経費	22,436,767円
（2）支出の部合計		**277,440,356円**

法人・団体からのご寄付は、維持会基金への直接寄付としてお受け入れをさせていただき、基金に組入れさせていただきました。

維持会基金残高

収支差額（1）-（2）	189,624,417円
維持会基金への直接寄付	7,216,762円
（3）年度末維持会基金残高	**4,478,809,014円**

2023年度末は44億円まで増えました！

最大で50%控除

寄付金控除

税務署に確定申告することで寄付金控除をお受けいただくことができます。所得税については「税額控除」または「所得控除」が受けられます。

寄付金控除の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

所得税※1の控除（税額控除の場合）　年間寄付金合計額※2 -2,000 円 × 40%

個人住民税※3の控除　寄付金額※4 -2,000 円 × 控除率※5

※1：寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。 ※2：年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。※3：地方自治体の条例により指定された場合に限ります。詳細は各地方自治体へご確認ください。 ※4：年間総所得金額等の30%が上限となります。 ※5：控除率は都道府県、市区町村合わせて最大10%となります。

事業報告の詳細は基金室Webサイトでご覧ください →

TOPIC 3 事業報告

維持会奨学金の運営、キャンパス整備には、「維持会基金」の運用益が充当されています。
維持会では、義塾の教育・研究の振興、施設の拡充などに幅広く寄与し、愛塾心に富んだ優秀な塾生の経済的負担を軽減するなど様々な支援をしています。

ポストコロナ教育・研究支援事業

義塾への財政支援事業として、ICTインフラ保守費用、基幹ソフトライセンス費用への支援をおこないました。

維持会奨学金

経済的な理由により修学困難な地方出身の優秀な学生を中心に、返済不要の奨学金をこれまで1,805名に給付しています。2024年度支援実績は135名です。

奨学支援

- ■維持会奨学金（2007年度～）
- ■東日本大震災により被災した塾生の授業料減免の資金および奨学金
- ■障がいのある学生への学業奨励金
- ■新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急学生支援

研究支援、福澤文明塾への支援、国際交流助成など

- ■大学院博士課程学生研究支援プログラムへの支援
- ■アントレプレナー支援金（ベンチャー支援）
- ■創立150年記念講演会「学問のすゝめ21」への財政支援
- ■「福澤諭吉記念文明塾」への財政支援
- ■国際センター留学生支援

キャンパス整備 ～快適な学生生活のために～

三田キャンパス

■中庭大銀杏ベンチ

■第一校舎前テーブルセット

■福澤公園ベンチ

■福澤公園テーブルセット

■南館2階外テーブルセット

■福澤記念園等整備
■照明
■防犯監視用カメラ
■大学院生研究室用事務椅子
■教室机・椅子

維持会の支援により設置しており、塾生に憩いの場を提供しています。

日吉キャンパス

■図書館内サイン工事

矢上キャンパス

■塾旗

■屋外椅子
■テーブル

一貫教育校

■普通部正門西側通路の床タイル貼り替え工事

■各校AED

都道府県別

維持会奨学生採用実績（2007～2024年度累積）

採用実績の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

日本全国また海外出身者にも広く学びの機会を提供しています。

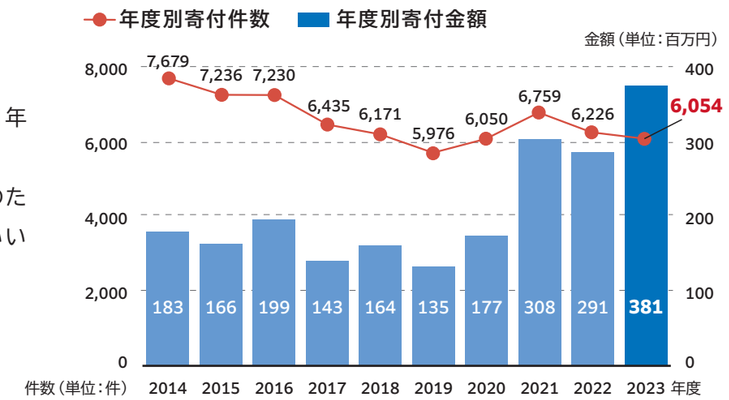
合計:1,805名

北海道	79名	栃木県	48名	石川県	13名	滋賀県	5名	岡山県	35名	佐賀県	10名
青森県	29名	群馬県	62名	福井県	19名	京都府	29名	広島県	38名	長崎県	10名
岩手県	11名	埼玉県	54名	山梨県	21名	大阪府	72名	山口県	25名	熊本県	36名
宮城県	30名	千葉県	41名	長野県	59名	兵庫県	61名	徳島県	10名	大分県	9名
秋田県	12名	東京都	149名	岐阜県	38名	奈良県	33名	香川県	13名	宮崎県	13名
山形県	11名	神奈川県	132名	静岡県	65名	和歌山県	18名	愛媛県	23名	鹿児島県	41名
福島県	33名	新潟県	48名	愛知県	87名	鳥取県	10名	高知県	24名	沖縄県	38名
茨城県	72名	富山県	30名	三重県	23名	島根県	14名	福岡県	46名	海外	26名

グラフで見る

維持会の状況

寄付金額・件数ともに、2021年度に大きく増えております。
今後の拡充とサポート実現のため、引き続きご支援をお願いいたします。



維持会奨学生VOICEの全文は基金室Webサイトでご覧ください →

維持会奨学生 VOICE

未来への希望と挑戦。塾生たちの情熱と努力が、明日の社会を形作ります。
それぞれの個性が輝く8名の奨学生の声をお届けします。

Q 維持会奨学生として思うことは？

奨学金のおかげで学業だけでなく、課外活動にも精力的に取り組むことができ、嬉しく思います。維持会奨学生として選んでいただけたことを誇りに思い、維持会の皆様に支援してよかったと思っていただけるよう、日々の学生生活を大切にし、充実したものにしていきたいです。慶應義塾で学んだことを活かして将来は社会に貢献できるよう努めて参ります。そして、恩返しとして同じような境遇の人がいたら手を差し伸べられる人間になりたいです。

薬学部薬学科4年 神奈川県出身

私は研究会で消費者行動論の研究に取り組むとともに、體育會競走部にも所属し、日々仲間とともに切磋琢磨しながら活動しております。今回の維持会からのご支援によってこれらの活動により一層打ち込めるようになること、感謝申し上げます。維持会奨学生としての自覚を持ち恥じぬように活動していくことはもちろんのこと、日々の活動で大きな結果を残すことで維持会へ恩返しができるよう、これからも日々精進していく所存です。

商学部3年 福島県出身

Q 一番興味のある授業は？

「管理会計各論（業績評価と会計）」という授業が最も興味深いです。特に面白い点は、企業が実際に使う技法を学べる点です。その技法の問題点を探り、より優れた評価技法を探ることが面白いです。変化の激しい現在の社会においては有効性のある業績評価をすることは難しくなっているのですが、いつか私自身が生み出した技法を用いて経営をしようという気概を持って授業に臨んでいます。

商学部3年 茨城県出身

社会学です。講義で扱った内容は私にとってどれも新鮮で、難しい内容もありますが、楽しく授業を受けています。特に“社会学で「私」を扱う”で学んだ、私自身を「問う私」と「問われる私」の2つに分けて考え、問う私をどう獲得するのかについては納得できる部分が多く、興味深かったです。秋学期の一般科目でまた新たな自分を発見できるのが楽しみです。

理工学部1年 愛知県出身

Q 今後、学校生活でチャレンジしたいことは？

私は天文研究会というサークルで渉外という役職に就いており、現在大学の垣根を超えた交流イベントを計画しています。コロナ禍で大学同士の繋がりが希薄化してしまったこともあり、一度失った繋がりを取り戻すというのは簡単に成し遂げられることではありませんが、サークルの仲間と協力し、後の世代にも引き継いでいってもらえるような交流イベントを企画したいと思います。

法学部法律学科3年 静岡県出身

大学生活でチャレンジしたいことは3つあります。1つ目は、三田祭論文の発表です。研究会のメンバーと協力しながら三田祭論文を成功させたいと思っています。2つ目は語学です。卒業までにTOEFL iBT110とフランス語検定2級を取得したいと考えています。3つ目はオランダのお菓子販売の起業です。昨年オランダに交換留学に行った際にそのおいしさがとても気に入り、是非日本でも紹介したいと考えています。

経済学部3年 青森県出身

Q 卒業後の進路・将来の夢は？

I plan on working as a data analyst within the diversity department of the company which works on the mission of making Japan a global by introducing foreign employees in Japanese workforce. My dream as of this moment is to be the best sister to my sibling. Through the horrid family difficulties, I want my sibling to enjoy their life to the fullest. I don't want to be successful for myself, but rather successful for my sibling.

（日本をグローバルにするミッションを掲げる企業のダイバーシティ部門で、データアナリストとして働きたいです。現在の夢は、弟妹にとって一番の姉になることです。）

環境情報学部4年 東京都出身

地方との格差の是正に貢献したいです。私は岡山県から上京してきましたが、地元の人々と慶應で関わる人々とではやはり経済、教育、情報に格差があるように感じます。地方創生には一つの専門分野だけでなく多角的な視野を持ったリーダー、管理者が必要となります。管理工学科でそのスキルを学びながら情報系の自分のスキルを活かして活躍したいです。自分の力を一番発揮できる状態で主に教育格差の是正に貢献したいです。

理工学部2年 岡山県出身

維持会奨学生からの感謝のメッセージ

※イラストはイメージです。

Message

維持会奨学生からの感謝のメッセージは
基金室Webサイトでご覧ください→

マクロ経済スペシャリストとして貧困撲滅に貢献したい。

経済学部3年 青森県出身

大学院進学に向けて学業に専念しています。そのため、アルバイトの時間を捻出できず、生活が厳しい状況でした。皆様のご支援により、勉学に集中できる喜びを感じております。

私の将来の夢は、世界銀行に入行し、マクロ経済スペシャリストとして貧困撲滅に貢献することです。この目標を達成するために、大学院進学に向けてマクロ経済理論のゼミに所属し、賃金格差や人材資源への投資など、労働経済学を学んでおります。卒業後は海外の大学院で国際間の労働移動や南北問題、途上国内格差などの研究を進めたいと考えております。修士号取得後は、職務経験を積みながら博士号を目指し、世界銀行への入行を目指しております。

夢の実現に向け、これからの三田での2年間は、ゼミ活動と語学能力の向上に力を注ぎたいと思います。マクロ経済学の理論と発展をしっかり学び、日本の雇用構造の課題について研究する予定です。また、英語のみならず、国際機関への就職に備えてフランス語を実用的な運用レベルにまで向上させたいです。

学業に安心して専念できるのは、慶應義塾維持会の皆様のご支援のおかげであることを心に刻み、一日一日を大切にしながら前進していきたいと思います。そして将来、慶應義塾大学に恩返しができるような人物となるよう、努力して参ります。

公認会計士として働き、起業も視野に幅広い分野で活躍していきたい。

商学部3年 山梨県出身

維持会奨学金により今年は大学での学業に専念するとともに、12月に行われる公認会計士試験に合格するために、経済的な心配や精神的、時間的な負担を気にすることなく、余裕のある学習環境が整い、目標達成への意欲が一層高まっております。

私は商学部に在籍しており、専攻分野は会計学です。学内外で様々な経験を積み重ねながら、貴重な学びの機会を得ることができています。在学中の目標の一つに、公認会計士試験に合格することがあり、学外では公認会計士試験に向けて公認会計士予備校に通い、会計学、企業法、監査論について学んでいます。疑問に思ったことや興味を持ったことに対して情報収集や調査を行い、テーマについての調査と考察を通じて、勉強することの楽しさをより実感することができました。また、様々な活動に参加し、多くの人と交流して充実した学生生活を送れています。

将来の展望としては、公認会計士として働くだけではなく、大学で学んだ知識を活かしてビジネスを考えたり、起業したりするなど幅広い分野で活躍していきたいと考えています。

今の学生生活は維持会奨学金なしでは実現されないものであり、心から感謝申し上げます。今後も努力を継続し、目標や夢を実現するためにこれからも精進してまいります。

数学を研究し、より良い世界を作りたい。

理工学部2年 愛知県出身

数学者になり、より良い世界を作るという人生の目標のもと学業を続けていくため、維持会奨学金のご支援を賜れることが本当に大きな支えとなっています。

大学入学後の一年間では、生物の「性」を数学的に定義し、人口がどう推移するかという研究を行いました。少子化の中、実社会への応用が大いに期待できる研究だと思っています。また、数学を志高く学ぶ仲間と共に数学書の輪読を行っています。議論を交わす中で深い理解をすることを重視することにより、数学全体を俯瞰する視野を鍛えることができていると感じています。

現在は、数論幾何学に強い興味があります。数論幾何学は、数学全体への知識の着実な積み上げによって確実な理解が達成されるものと思います。加えて、グローバルな研究活動を展開していくため、英語等の外国語の学習にも注力してまいります。英語のTOEFL iBTやロシア語、フランス語の学習を進めていく所存です。

慶應義塾維持会の皆様のおかげで学業に勤しむことができますこと、心より御礼申し上げます。福澤先生の「全社会の先導者たらん」の言葉を胸に、私は好きな数学を研究することで、より良い世界を作ることができるよう邁進してまいります。このご恩を決して忘れず、社会・義塾に還元し、恩返しをいたします。

多方面から様々な刺激を受け、日々成長したい。

薬学部薬学科2年 高知県出身

自分のやりたい事に打ち込むことができる大学生活において、学費の面で両親の経済的な負担を大いに軽減することができ、非常に感謝の気持ちでいっぱいです。

二年生で学ぶ内容は去年よりも一層専門的になり、薬学の分野の学習がより楽しく感じられるようになりました。高校時代に、私の故郷にある牧野植物園の研究者の方が薬草から抗がん剤の成分を発見したというニュースが薬学への関心を持つきっかけとなりました。今、より専門的となった机上の学びや実習の内容を自分のものにしていく中で、自らの力で新たなものを発見していく研究の楽しさに気付き、その第一歩を歩み始められていることに非常に充実感を感じています。

実習では同じ班のメンバー内で意見が異なって話し合ったり、実験で失敗をして夜遅くなることも多く、試験も増え、体力面や精神面でも大変に感じることもありましたが、同じ志を持つ友達との時間も充実した学生生活の一コマとなっています。多方面から様々な刺激を受け、日々成長できていることが身をもって実感できています。

慶應義塾維持会の奨学生に選んで頂いたことに改めて御礼申し上げるとともに、塾生かつ奨学生としての自覚と責任をもって、社会に貢献できるよう、学業に専念してまいります。

維持会員について

塾員（卒業生）をはじめ、保証人の方、一般の方どなたでもご入会いただけます。会員には普通会員と終身会員があります。

※公職選挙法等により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

終身会員

30万円以上を一括で支援いただける方

既に終身会員の方からの追加のご寄付も有難く賜っております。

普通会員

1口1万円からのご寄付で継続的に支援いただける方

複数年分まとめてのお払い込みも可能です。

入会特典1 **『三田評論』へのご芳名掲載※・冊子の贈呈**［全員］ ※掲載可の方のみ

義塾の機関誌『三田評論』にご芳名を掲載※・ご加入期間、贈呈します。

入会特典2 **記念品の贈呈**［新規終身会員の方のみ］

維持会オリジナル記念品（クリスタル時計：2024年現在）を贈呈します。

維持会へのご寄付方法

個人

普通会員の皆様におかれましては、ご加入期間終了の2か月前を目安に維持会から所定振込用紙をお送りいたします。継続的なご支援を賜れますと幸いです。

インターネット決済

おすすめ

クレジットカード決済、インターネットバンキング決済（ペイジー）をご利用いただけます。クレジットカード決済の場合、毎年自動での決済も可能です。お申込画面で「毎年寄付する」をご選択ください。海外からのお申込みはクレジットカード決済をご利用ください。

インターネット決済ページはこちら

金融機関振込

所定振込用紙にご記入のうえ、金融機関の窓口でお振り込みください。

預金口座振替

毎年、一定金額（1万円以上）をご寄付いただける方が対象です。

法人・団体

維持会基金へのご寄付としてお受け入れをさせていただきます。必要書類をご請求ください。

慶應義塾維持会 会報 No.17 つなぐ 2024年号

慶應義塾 維持会

https://kikin.keio.ac.jp/ijikai/

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45／TEL 03-5427-1545（平日10:00-15:00）

E-mail：kikin-box@adst.keio.ac.jp

慶應義塾維持会 会報『つなぐ』（旧：Newsletter）は基金室Webサイトでバックナンバーも含めてご覧いただけます。

発行月 2024年9月

発　行 慶應義塾基金室 維持会担当

ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C014911

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。